

2023年度 理科:「地学」シラバス

対象教科・科目	単位数	学年
地学	5	3
使用教科書	使用副教材	
啓林館「地学」(地学 303)	ニューステージ新地学図表 (浜島書店) 19 セミナー地学基礎 (第一学習社)	

1 学習の単元と目標等

学習の目標 ：地学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を養う。	
単元と学習のねらい	
<u>第1部 固体地球の概観と活動</u> 第1章 地球の概観 第2章 プレートテクトニクス 第3章 地球の活動	地球の形状や内部構造を実験などを通して探究し、地球の概観を理解する。また、地球に見られる様々な事物・現象を実習などを通して探究し、地球の活動を理解するとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察する。
<u>第2部 地球の歴史</u> 第1章 地表の変化と地層 第2章 地球・生命・環境の歴史 第3章 私たちの日本列島	地形や地層などの地表に見られる様々な事物・現象を、観察・実験などを通して探究し、地球の歴史を理解する。また、日本列島の地質やその成り立ちを理解する。
<u>第3部 大気と海洋</u> 第1章 大気の構造 第2章 大気の運動 第3章 海洋と海水の運動 第4章 気候変動と地球環境	地球の大気と海洋について観察、実習などを通して探究し、大気と海洋の構造や運動を理解するとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察する。
<u>第4部 宇宙の構造</u> 第1章 太陽系の天体 第2章 恒星の性質と進化 第3章 銀河系と宇宙	太陽系の天体や恒星、銀河などについて観察などを通して探究し、宇宙の構造を理解する。

2 学習のアドバイス

<p>①地学は、地学基礎の内容をさらに深めて学ぶ学問です。基礎の内容の定着が求められます。</p> <p>②日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味をもち、その法則性について考える態度をもつこと。</p> <p>③疑問に思ったことを確かめてみようという態度をもつこと。</p> <p>④授業の板書は、基本的にマインドマップ方式で行います。キーワードの関連付けを意識することがポイントです。</p>
--

3 評価方法

<p>①定期テスト、学習記録表、テストノート、発表（意欲）、その他の提出物などを総合的に判断して成績つけます。</p> <p>②学習記録表は毎時間、その日学習したものと一緒に提出してもらいます。</p>

4 進路との関わり

地学は、「大学入学共通テスト」理科②の受験科目の一つ、および大学の個別試験の科目としても位置づけられます。セミナーでは、地学基礎の実力養成を目指します。
--

